



ありがとう、音楽発表会実行委員会

文化行事委員会委員長 加藤 裕保 教諭

昨年度に引き続き、実行委員会を指導しました。昨年度より早い時期の杉並公会堂、不安もありました。限られた練習期間で質を落とさずに発表してもらうにはどうしたらよいか。自席で発声してからのクラス発表、入退場の形も変えたことで、タイムテーブルどおりに進行するか、など。

しかし、実行委員会の生徒はわたしの不安をすべて乗り越えてくれました。クラス練習では、短い期間だからこそ集中して最初から取り組む雰囲気をつくってくれました。毎日の練習の50分間をどう使うかも、実行委員に委ねました。特に実行委員長は信頼に応え、リーダーシップを發揮して実行委員をまとめ、下級生へのアドバイスもしてくれました。実行委員は、最初から最後まで「自分たちで作り上げよう」という思いを持ち続けてくれました。生徒の皆さんのが時々疲れた顔をしていたり、体調を崩したりしているのを見て心配をしていましたが、当日は疲れを感じさせず、力を出し切ってくれたなあと思います。閉会式を終えて、全校生徒に達成感があふれていたというように感じました。



保護者の皆様、PTA役員や係の保護者の皆様に多く支えていただきました。アンケートでも「感動した」「すばらしかった」との言葉を多くいただきました。その言葉をすべて、実行委員はじめ、生徒の皆さんにそのまま贈りたいと思います。ありがとうございました。

「人に伝える」

音楽科 明石晴奈 主任教諭

その曲で何を伝えたいのか。聴いている人が曲を聴き終わったときにどんな雰囲気を感じてもらいたいのか。授業での合唱練習は、人に伝わる合唱を目標に練習してきた。各クラス歌詞を読み取り、歴史的背景や作詞者・作曲者の思いをふまえそれぞれの意見を交換してきた。なぜその歌詞がフォルテなのか、ピアニッシモなのかを考え表現方法を考えた。人に伝えるためには思っているよりはっきりと表現しなければならない。

音楽は一瞬の芸術。そのとき、ホール（場所）、表現者、聴き手によってつくられる。今回の本番では各学年それぞれの良さが最大限に表現された合唱だった。また、ホールもあたたかい雰囲気で演奏を聴いていた。最後に、学年合唱は1年生のパワーと2年生の美しいハーモニー来年が楽しみです。さすが3年生、重厚な合唱各クラスそれぞれの想いが伝わってきました。素敵な合唱ありがとうございました♪





学芸発表会～音楽発表会～ 10月11日 保護者の方、ご来賓の方のアンケートから・・・

1 合唱コンクール

- 姿勢や口の開け方などの学年もできていて、ちゃんと先生の指導を意識しているのだなと感心しました。自分もコーラスをしていますが、皆さんの歌声を聴いて、歌うことの楽しさ、嬉しさを改めて味わわせてくれます。いつもありがとうございます。
- とても真剣に合唱に取り組んでいるのが伝わってきて感動的でした。学年が上がるほど経験値や熱意も上がり、成長を感じられ、1年生保護者としては先輩の姿に我が子の今後の姿を見るようでとても楽しみです。3年生の合唱素晴らしかったです。先生方のご指導、感謝いたします。
- 3年の大地讃頌はそれぞれのクラスでそれぞれの大地を感じることができました。

2 有志合唱

- 去年より人数が増え、選曲もとてもよく、聴いていて私もすごく楽しくなりました。先生方が生徒と共に指揮したり一生懸命歌っている姿を見てうれしくなりました。1～3年生と先生方が一緒に有志で活動できる教育も素敵ですね。
- 有志ということに驚きました。がんばっていました。

3 吹奏楽部演奏

- 演奏も素敵でしたが会場を一体にする力も素晴らしかったです。
- はじめてははじめに、はっちゃける部分はとことん、のメリハリも天中生の素敵などころですね。荻窪音楽祭も楽しみにしています！

4 その他

- 短い時間での練習のようでしたが、すごく楽しませていただきました。ご指導ありがとうございます。
- 学校全体が生き生きしていてびっくりしました。普段あまり学校の様子がわからないので、その一部を見せていただけて楽しく安心しました。実行委員長さんが自分の言葉でご挨拶されたのがすごかったです。実行委員の皆様お疲れ様でした。
- 体育館ではなく、プロも立つ杉並公会堂のステージでの音楽発表会は最高の教育だと改めて感じました。
- PTA役員、係の皆さん、お疲れ様でございました。
- 生徒の合唱に対する姿勢、聴く態度、盛り上げ方など一体感がありすばらしかったです。過去2年も来ればよかったです。

学芸発表会～展示の部・舞台発表の部

10月は、天沼中『芸術の秋』月間でした。音楽発表会をはさんで2週間の展示発表。そして、最終日19日の舞台での成果発表。それぞれに、個性が光り、努力の成果が發揮されていました。

【展示内容】

- 華道部展示
- 雑誌部展示
- 各教科展示（国語、社会、理科、美術、技術・家庭科、総合的な学習の時間）
- 普掛小学校、天沼小学校児童の图画工作作品

【舞台発表内容】

- 英語スピーチ「Plastic World」（2年）
- すぎなみ小中学生未来サミット報告（生徒会役員生徒）
- 杉並区中学生小笠原自然体験交流事業報告（2年）
- 杉並区中学生海外留学事業報告（2年）
- 道徳「心に残った折々の言葉」（1年）修学旅行自主課題研究
- レポート「奈良公園のシカの食性を調べろ！！」（3年）



Marine animals could eat plastic and die.
海洋生物はプラスチックを食べて死んでしまう。

海洋生物はプラスチックを食べて死んでしまう。



↑ ウィロビー市長表敬訪問挨拶



令和元年9月 7月27日
すぎなみ小・中
未来サミット

AKA
～天沼中・普掛小・天沼小～

HUG訓練
HUG訓練とは、「避難所・避害・ゲーム」のこと。カートを走らせて災害が起きたときにこのことを想定し、みんなで解決策を考えと訓練です。昨年夏の9月に行なわれた訓練は、中学生と小学生が一緒にになって楽しくながら活動に意見や考えを出し合いました。

AKA百人一首大会
6年生と中学生が1回に、天沼中で百人一首で争います！各学年の2年10名は表彰されるので、みんな奮闘を頑張っています。同じ量で百人一首をして交流を楽しめます。毎年、6年生に喜んでもらっています。

サポート授業
天中生が小学校に行き、各学年の授業のサポートをします。危険のお手伝いや始業の準備などと一緒に活動し交流を深めました。小学生からも好評でした！

部活動体験
6年生が天沼中の部活動を体験します！体験して上手い6年生に先輩もびっくり！天中生は必死に動員し、新年度に向けて交流を深めています。

～AKAの活動を振り返って～
AKAではこの他の活動以外にも、小中あいあい運動や天沼スマイルマーケットなど、小中連携での活動を活発に行い、3校の親交を深めるとともに、HUG訓練などを通じて地域との関わり大切にしています！



華道部展示

華道部はこの夏の「小原流学生いけばな競技会」で3位に入賞しました。



おがさわら丸
での24時間



オリンピック・パラリンピック教育

「ラグビー教室」

10月15日、ラグビー日本代表が8強入りを決めた直後に、本校では国立スポーツ科学センターの沼田幹雄様、「サントリーサンゴリアス」所属の元日本代表である 中村駿太選手（杉並区出身）、祝原涼介選手をお招きし、ラグビーのルールや歴史などの講演をしていただきました。全校生徒が校庭で、ラグビーボールでパスを回すなど、実技も含め、心に残る体験になりました。



いのちの教育「誕生学」「がん教育」「臓器移植」



10月23日、1年生2年生が各教室で、「誕生」について、2年生が「がん」、3年生が「臓器移植」についての講習を受けました。今年度、力を入れている「いのち」の教育、重たい内容だったり、知らなかつたことだったり、生徒は振返りの中で、さまざまに考えを深めていました。

「誕生学」 誕生学協会アドバイザーの方

「がん教育」 国立国際医療研究センター

病院緩和ケア科 医長 徳原 真 先生

「臓器移植」 日本臓器移植ネットワーク

広報・啓発アドバイザーの方



10月★ボランティアマインドの見える風景

赤い羽根共同募金・ふれあい運動会・AKAあいさつ運動・自転車クリーンキャンペーン



レスキュー隊防災学習会 10月19日 守真弓先生



○保健福祉部障害者施策課主催ふれあい運動会ボランティア

○AKA協働活動 天小でのあいさつ運動

○赤い羽根共同募金

○自転車クリーンキャンペーン

○レスキュー防災学習会では、今、「災害報道」が日常となってしまったこの秋、被災地の現実などを、体験から守先生にお話いただきました。特に、そのとき「何をしてはいけないか」（ガソリンのこと、感染のリスクのこと、トイレの水を流すことなど）というお話に、レスキュー隊は真剣に聞き入っていました。また、災害時に必要なのは水や食糧よりも「トイレ」ということで、簡易トイレの作り方などを教えていただきました。

11月も天沼スマイルマーケット、天小震災救援所訓練お手伝い、荻窪音楽祭運営ボランティアなどの活動があります。がんばってください！